

令和 8年 3月 5日

足立区立青井小学校
校長 鯉沼 哲 様

足立区立青井小学校 開かれた学校づくり協議会

令和7年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

- * 学校・保護者・地域の連携が非常にうまくいっている印象ではあるが、実際に教職員と保護者・地域とのつながりがどのくらいあるのか不安なところである。
- * 次のステップ（課題）は、「学力の質的向上」と思われる。
- * ドリル学習の定着はできている。
- * 青井小学校は「いのちの日」を大切にしていることもあり、児童アンケートでの「友達を大切にしている」95.2%につながっていると思う。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- * 「仲良く」の先にある「多くの意見を持つ相手」（友達等）にどうやって、「より一層仲良くする」ために接することができるか。道徳授業等の時間を今後も大切に行っていくほしい。
- * AIドリルの活用もあるが、具体的にどのように活用していき、学習のどのような部分を補っていくのか見えてこない。
- * 地域は下校時間に見守りを永年行っているが、教職員・保護者がどのくらい理解しているのか疑問である。

3 その他

- * 見守り街角隊が無くなり、あいさつ運動は、各学年ごとに学校・保護者で行っているようだが、地域の力も加える必要があると思う。もっと、参加を依頼してほしい。
- * 11月に防災運動会を開催、保護者と地域の多くの方に参加していただき、より一層連携が取れたとともに、防災への意識を高めることができたと思う。今後も継続していきたい。
- * 外部指導員の導入を早期に取り入れ、金管バンド部やサッカー部、バスケットボール部などの指導について教職員の負担軽減を考えてみてはどうか。